

開催日:2024年4月21日(日) 18:00~20:00

会場:Zoomによるオンライン会

参加者: 清水(49C)、鶴岡(44M)、佐野(62W)、松永(47C)、吉平(50C)、阿部(桂)(修46S)、  
二宗(46M)、窪田(46W)、森口(50E)、中村(洋)(修54C)、金井(修46C)、  
荒井(修46C)、松原(修56C)、倉林(44C)、星野(修56C)、小西(修49C)、  
堤(修53S)、島田(修50K)、奥山(52E)、瀬尾(56S)、小松原(工業会)、渡辺(工業会)  
合計22名

4年目に入ったこの会も、関東から東海、近畿四国と参加者の範囲も広がってきた。

今までは一人のトークを中心にそのテーマに関する懇談という形式でやってきた。

4年目に入り少しこのスタイルも変更しようと思いい、今回は新スタイルで実施した。

「この地方の春の風景」というテーマで、各地の春らしい風景を紹介してもらい、それについて話を広げていくことにした。開催案内を出すと同時に、当初4人ほどに話題提供を頼んだが、その後、多くの方から写真や話題提供の申し出があり、うれしい悲鳴と、時間調整に苦労した。

桐生の情報も欲しく、工業会本部へ参加依頼した結果、小松原理事長と渡辺さんに参加していただ



き、学内の風景の報告があった。

校内の「しだれ桜を見る会」は5年ぶりに開催され市民600人の参加もあり交流ができた。池の周りのしだれ桜は1977年に植えられたもので、50年近くたつが、今回の参加者はこれ以前の方が多く、その思い出は桜より池に飛び込んだ話で弾んだ。

佐野の荒井さんは、館林のつつじが岡公園のつつじの様子をPCで描いた絵で、愛知の清水さんは花と野鳥を、川越の金井さんは春を感じる花やこの季節の鳥を紹介してくれた。



徳島の森口さんと瀬尾さんはこの地方に伝わる春の節句で



子供が「遊山箱」を持っての花見、勝浦のビッグひな人形祭、大歩危峽や月ヶ瀬

温泉の川の上にこいのぼりを飾っている風景を写真で披露してくれた。

松山の中村さんは、松山城と市街電車、道後温泉などを桜とともに写真で観光案内。



関東から四国までの春の様子を皆さんがそれぞれの地域の特徴を出して紹介してくれて、参加者の皆さんも興味を持って参加できた。

その他たくさんの方からの報告があった。

\*\*幹事のつぶやき一言\*\*

桐生の大学構内から始まり、関東、東海、四国と、このオンライン交流会参加者の目から見た「春の風景」を紹介してもらった。各報告者の個性的な作品が多く、皆さんのまた新たな姿を見ることができた。このようなことで、より会員同士の繋がりも広まり、強くなる気がした。

文責 二宗(46M)

# 今回の参加者

